

リヴィエ会だより



ご挨拶

リヴィエ会会長 比 嘉 泰 江



リヴィエ会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

2022年度のリヴィエ会活動も会員の皆様と先生方のご支援・ご理解をいただきながら無事に終える事ができました事、リヴィエ会役員ともども感謝致しております。

コロナ禍の制限も徐々に解除されつつありますが、罹患された方やそのご家族、まだまだ不安の中におられる方々に対して心からお見舞い申し上げます。また、社会生活を支えるために力を尽くされている皆様に心から感謝申し上げ、一日も早く日常が戻る事を願ってやみません。

様々な面で感染予防対策を徹底したリヴィエ会の活動に加え、今年度は9期卒業生の一年遅れの60歳記念の同窓会を案内状送付準備の段階でお手伝いする事が出来ました。人と人が直接会える機会を制限され続けた数年間を経て、人と会う事・集まる事が再びできる喜びと9期生の企画力・行動力に感動し、いつの日か自分達の期でも60歳記念の同窓会が出来ればよいなど考えました。今後同窓会開催を計画されている期がありましたら、学年幹事を通じて問い合わせただけ

ればお手伝いさせていただけると思います。

2023年度こそは多くの方に参加していただけるリヴィエ会活動を開催できればと考えています。学院の年間スケジュールとの調整はありますが今年度も学院の行事に参加・協力する形で新しい活動を模索していく予定にしています。現在、活動の詳細は未定ですが、決まり次第学院ホームページのリヴィエ会ブログにお知らせ記事を載せますので、是非覗いていただき活動にご参加いただければと思います。

リヴィエ会活動に対してご意見やご要望などがありましたらお聞かせください。いただいたご意見等は役員間で共有し活動に反映させていきたいと思っております。今年度もリヴィエ会へのご支援・ご協力そして活動へのご参加を賜りますようお願い申し上げます。

また、引き続きリヴィエ会役員活動をさせていただける新役員を募集しています。一人では…と思われる方も同期・友人複数名でも子連れでの役員会参加でも構いません。役員の仕事も負担軽減できるよう工夫中ですので、少しでも興味関心のある方、ご協力いただける方は是非Gmailまでご連絡のほどよろしくお願い致します。

リヴィエ会会員の皆様はじめ、会員のご家族・関係者の皆様が健やかな毎日を過ごされますように、くれぐれもお身体ご自愛下さい。



愛の炎を燃やし続けて

理事長 高 島 政 行 神父



リヴィエ会の皆さまには、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また日頃から、賢明学院の教育活動を支えてくださっていることを心から感謝いたしております。

さて2020年から3年間、新型コロナウイルスが猛威を振るい社会生活や学校の教育活動にも大きな影響を与えてきましたが、今年に入って次第に解放の時が見えてきました。お陰さまで52期生の卒業式はご家族も参加できるかたちで、全日制・通信制の166名の生徒が無事に賢明学院高等学校から巣立っていくことができました。規制の真ただ中の3年間を過ごしてきた生徒を、本来あるべき卒業式で送り出したことに、教職員一同、胸をなでおろしました。

ところで賢明学院では昨年、聖母奉獻会の創立者マリー・リヴィエが、5月23日にバチカンに於いて教皇フランシスコによって列聖され、「福者マリー・リヴィエ」から「聖マリー・リヴィエ」となられたことが私たちにとって大いなる喜びとなりました。例えば相応しくないかもしれませんが、夜空の2等星が1等星になったとでもいえるのではないでしょうか。1等星は2等星の2.5倍の明るさのようですが、光の輝きが増すことによって肉眼で星の存在がよりはっきりと認知できるように、聖マリー・リヴィエを私たちの心眼ではっきりと認識し、彼女を通しての取り次ぎの祈りが、神さまに聞き入れてもらい易くなったとも言えるでしょう。皆さんも大いに聖マリー・リヴィエを通して祈り続けてみては如何でしょうか。

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」ヨハネ福音書15章5節

「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛にとどまりなさい。」15章9節

この言葉はイエスが十字架に架けられる前の晩、最後の晩餐で弟子たちに語りかけた遺言のような箇所です。「～につながる」と訳されている語は、ギリシア語では「メノー・エン」という単語で「メノー」は「～に留まる」と訳され「エン」は「～のうちに」という前置詞です。ですから直訳は「わたしのうちに留まっていなさい。わたしもあなたがたのうちに留まる」という内容なのです。

「ぶどうの木」は2000年前に生きた人間イエスであると同時に、イエスの愛そのものだと受け取るなら、このたとえ話は私たちに人生の目標を教えているのではないのでしょうか。

—イエスの愛の中に私たちが留まり、私たちの中にイエスの愛が留まるのなら、豊かな愛の実りが実現していく—

聖マリー・リヴィエはイエスの愛のただ中に生き、その彼女の中にイエスの愛が燃え続けていました。そしてその豊かな愛の実りが私たちの母校、賢明学院なのです。賢明学院で学ばれた皆さんは、卒業後に復活ろうそくから受け取った愛の火を携えて社会へと派遣されました。その愛の炎を絶やさず燃やし続けていただきたいと思います。



ご挨拶

賢明学院中学高等学校校長 石森圭一



長らくのコロナ禍の中、様々な困難と制限に苦しめられてきましたが、ようやく出口が見えてきた今日この頃ですが、リヴィエ会の皆様はいかがお過ごしでしょうか。賢明学院中学高等学校では2023年になり、始業式をはじめとする様々な学校行事を以前の姿に戻って対面で全校生徒が集まってできるようになりました。卒業式も保護者の方々の参列が可能になり、生徒たちの歌声も響くようになってきました。しかし、マスクをはずしてもよいようになっても大半はマスク着用のまま、素顔を見せての活動には戸惑いも感じられます。だんだんと聖歌や祈りの声を天に届くようにあげることができるようになってほしいと願っています。

成人年齢が18歳に引き上げられた現代では、中学・高等学校が成人(大人)への最終段階に入ることが要求されています。未成人から成人へと過渡期を迎えるこの青春時代を過ごしている若者にとって、現代の世の中は格差社会の拡大、ロシアによるウクライナ侵攻など混迷の度合いが強まっています。よい大人の見本を示せていないと感じています。その中であって3月に行われたワールドベースボール大会では、大谷翔平をはじめとする侍ジャパンの選手たちが私たちに大きな勇気を与えてくれました。彼らの振る舞いひとつひとつに品位と誇りを感じました。

人が人として存在することについて聖書では、旧約聖書ホセア書の4章には、人間を人間たらしめる最も大切なものとして「誠実さ」「慈しみ」そして「神を知ること」の3つをあげ、これがないと、「その地は渇き、そこに住む者は皆、衰え果て、野の獣も 空の鳥も魚までも

一掃される」と記述されています。そして続く6章3節には「我々は主を知ろう。主を知ること追求めよう」と呼び掛けています。日々の賢明学院での学びの中に「祈り」「聖書の御言葉」、「ミサ」の時間があることをポジティブに考えて、どうぞキリスト教に触れる機会を積極的に活用して、自分の学校生活をそして人生の歩みを益々充実させていってくれることを心より願っています。

また、旧約聖書ルツ記の中にルツとナオミという2人の女性が出てきます。嫁と姑であるこの2人の物語は、旧約聖書の中でも私が大変好きな場面です。跡継ぎの息子を3人立て続けに失った失意のナオミ、夫を失った他の嫁たちはそれぞれ故郷へと帰っていきます。しかし、ルツは一人残されたナオミから離れず、寄り添うことを決意します。ナオミはそんなルツに第二の人生を歩むよう勧めますが、ルツは断ってナオミとともに生きることを選択するのです。男性の主人を失った未亡人が生活するのは現代でも困難なのに、この時代、もっと大変であったことは、聖書の記述からも想像できます。しかし、神様はこの二人を顧みてくださるのです。ルツに第二の夫ボアズができ、その子がオベデ、そしてエッサイ、ダビデへと続いていくのです。ルツ記は4章しかありませんので、ぜひ読んでみてください。そしてダビデから延々と続いて、イエス・キリストにつながっているのです。聖書の世界もこのようにしてルツのような数々のお母さんが人類の歴史を紡いできたのです。今日も賢明学院の正門をくぐると、両手をひろげた聖母マリア様が私たちを待っています。列聖された創立者マリー・リヴィエの精神を受け継いだ4人のシスターたちがともした炎のともし火を私たちは今日も引き継いでいきます。



コロナを乗り越えて

市場貴志



卒業生の皆様、元気に過ごしておられますか？ 学業や仕事、家庭のため、忙しくお過ごしのことだと思います。

学校では、2019年春から3年以上にわたって、新型コロナウイルスの影響で、学校での活動を制限せざるを得ない状況が続きました。いろいろな行事が中止になった上に、多くの活動が制限の中で行われる形となり、生徒たちはがまんしながらも今まで過ごし、その中で、今春、3年生の生徒たちは卒業していきました。学年によっては研修旅行が延期になるなど、本当にかわいそうでなりません。

しかし、2023年春より、やっと本来の賢明学院の姿を取り戻しつつあります。「やっと普通になったな〜」というのが本音ですが、先生方も、生徒たちも、コロナの厳しい状況を乗り越え、もしこの先、別の感染症が流行したとしても、乗り越えていく強さを身につけたように思い

ます。私はこのようなパンデミックや災害の中で、強くなれる可能性を実感しています。2022年度はクリスマスブローも通常通り実施し、卒業式も在校生出席、保護者も人数制限なく入場など、いろいろな行事がほぼ以前と同じ形になり、本当にうれしく思っています。

先日、2023年度が始まり、入学式を終え、新入生も迎えました。マスク着用の見直しや、5月には新型コロナウイルス5類移行など、また新しい生活が始まります。コロナにより、いろいろな変化がありました。逆に、スリム化、効率化された部分も多くあるように思います。コロナによる「いい変化」を残し、今までの「よかったこと」を合わせてさらに素晴らしい学院にしていきたいと考えています。

リヴィエ会会員の皆様と、いつかまたお会いし、昔懐かしいお話をすることを心より楽しみにしております。いろいろとご多忙とは思いますが、お体ご自愛いただくとともに、学校においでいただければ幸いです。教職員一同、お待ちしております。

最近の中学・高等学校の様子をお伝えします。.....

【高校の授業風景】



↓数学では、一部の授業で事前に予習を課し、授業時間のほとんどを教えあいや問題演習をして過ごす反転授業を展開しています。生徒が『先生』として活躍する姿を、ときどき目にすることがあります。

↑ドローンをとばしています。みえますか？この授業は、賢明の目玉であるKGSSコースのAP科目の授業です。工学研究室(竹田・芳賀)のゼミの様子です。プログラミングを通して、ドローンをどのように活用できるかを研究しているようです。



【中学の授業風景】



↓総合学習の時間(探究)で、校外学習に向けての準備をすすめていたようです。まずは、担任の先生の説明をきいています。

↑道徳(宗教)の授業では、タブレットを使い、この日は『キリスト教について』調べています。一生涯命に取り組んでいます！



↑関西学院大学の学生がデザインしたモニュメントがシャローム広場に設置されました。休み時間には多くの生徒が憩いの場として利用しています。



令和5年1月8日、賢明学院リヴィエホールにて50期生「20歳の集い」を小学校同窓会・リヴィエ会合同で開催させていただきました。

約100名の卒業生がスーツや晴れ着に身を包み、久しぶりに母校で集うことが出来ました。

神父様による御ミサ、聖書朗読や共同祈願など賢明学院で過ごした日々を振り返り、懐かしみながら時を過ごしました。

前回、前々回はコロナ禍でできなかった同窓会を少しの制限はありましたが開催することができ、楽しい時間を過ごすことができました。

来年は51期生の皆さまです。良き思い出となりますように願っております。

50期代表 浅尾 彩羽・中井悠貴弥



「賢明9期生小・中高校合同同窓会」

9期生 村田 二起子

コロナウイルス感染拡大で一年遅れの60歳記念の小・中高合同同窓会を梅田ホテルモントレ大阪で2月11日(土)に開催致しました。

まだまだ感染状況が心配な時期でしたが、生徒21名先生3名の24名に参加して頂くことが出来ました。

小学校からは田原先生、中・高校からは前垣先生・芦田先生がお越し下さいました。

また、5・6年担任して頂いた中辻先生からはお手紙を頂きました。先生方のお話を伺っていると男女共に元気で活発な9期生だった様です。(反省)

今回の合同同窓会を楽しみにしていた発起人の一人でもある糸本武美さんが昨年の秋に他界され、影膳にて参加して頂きました。

小学校は約10年ぶり、中高校に至っては初めての単合同窓会でしたが昔の面影があり「〇〇君」「〇〇ちゃん」と懐かしい呼び声が

飛び交っていました。

一人30秒の近況報告をし、最近の幼稚園・小学校・中高校の校舎・懐かしい卒業アルバム、今は仁豊野の修道院にいらっしゃるシスターの写真を見ながら久しぶりの再会に話が尽きずあっという間の2時間半でした。

今回初めての試みで賢明小・中高校全9期生の合同同窓会を致しましたが、さすが9期生垣根等感じず2次会も盛り上がりました。



52期卒業生 リヴィエ会入会式

令和5年2月28日、52期生リヴィエ会入会式が執り行われました。

今年は全日制課程、通信制課程合わせて165名の入会となりました。今年も校章の入ったUSBを記念品として贈呈しました。52期生の皆様からお預かりしました終身会費はリヴィエ会活動のために大切に使用させていただきます。今後の52期生の活躍を期待しています。

令和5年度 総会・合同同窓会について

中学高等学校の懐かしい秋麗祭にリヴィエ会も参加しようと企画しております。

リヴィエ会ではガレットの販売や思い出の写真館・卒業アルバムの閲覧を検討しています。

また、当日にリヴィエ会総会を開催する予定です。

ぜひ、ご友人をお誘いあわせの上、お越しください。皆様にお会いできることを楽しみにしております。



令和5年度 「20歳(はたち)の集い」の お知らせ

と き：令和6年1月7日(日)

と ころ：賢明学院リヴィエホール

新成人となられる51期生の皆様には、後日ご招待のお便りを送付させていただきます。

リヴィエ会会員の皆様もご列席いただけます。

令和4年度 合同同窓会について

前年度からの新しい試みとして秋麗祭に参加し同窓会の開催を予定しておりました。しかし残念ながら、令和4年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からリヴィエ会の参加並びに総会・合同同窓会の開催を見送ることになりました。

今年度も秋麗祭への参加を候補に入れながら、安心してご参加いただけるよう企画してまいります。

役員名簿 2023

役 職	氏 名	期
会 長	比 嘉 泰 江	20
副会長	坂 口 淳 子	26
	牧 斐 人	47
会 計	長 瀬 美 姫	36
	辻 本 福 子	32
書 記	栞 原 法 子	24
	横 野 美 佳	30
	中 井 悠 貴 弥	50
	浅 尾 彩 羽	50
	安 上 真 由	51
	谷 上 京	51
	櫻 本 晴 也	52
	福 西 臨	52
横 田 昂 軌	52	